

北名古屋市議会だより vol.49

またる



18歳選挙を学ぼう 夏の参議院議員通常選挙からの投票に備える

Q. 選挙権年齢を18歳以上に引き下げたのはなぜ？

18歳・19歳をはじめとする、若者の力を社会・政治が必要としています!!

少子高齢化、人口減少社会を迎えている中、日本の未来を作り担う存在である若者に政治に対する意識を高めてもらう必要があります。より早く選挙権を持つことにより、政治に参画し、社会の担い手であるという意識を高めてもらうという目的で選挙権年齢の引き下げが行われました。



Q. 世界の選挙権年齢はどうなっているの？

世界各国の選挙権年齢は「18歳以上」が主流！

世界の国のうち、9割近くが、選挙権年齢を「18歳以上」と定めています。また、ヨーロッパの国々を中心にさらに引下げを進める動きが活発化しています。

各国の選挙権年齢			
21歳	オマーン、マレーシア、シンガポールなど	18歳	アメリカ、イタリア、フランス、ロシアなど
20歳	カメルーン、日本（今年18歳へ引き下げ）など	17歳	東ティモールなど
19歳	韓国	16歳	アルゼンチン、オーストリアなど

Q. インターネット選挙運動でできること

有権者も情報を発信できます！

18歳以上（有権者）になれば選挙運動ができます。ブログなどのインターネットツールを利用して、特定の候補者の当選を目的とした活動もできるようになります。なお、候補者や政党等以外は電子メールを利用した選挙運動はできません。

寄付の禁止

ご存知ですか？
みんなで徹底「三ない運動」

「三ない運動」は、政治家からの寄付について（贈らない！求めない！受け取らない！）を合言葉に、きれいな政治・選挙の実現を目指す運動です。

- ・政治家は有権者に寄付を贈らない。
- ・有権者は政治家に寄付を求めない。
- ・政治家から有権者への寄付は受け取らない。

選挙の有無に関わらず、政治家が選挙区内の人に寄付を行うことは、名義のいかんを問わず特定の場合を除いて一切禁止されています。有権者が求めてもいけません。冠婚葬祭における贈答なども寄付となります。また、政治家や関係者以外の者でも、政治家名義での寄付をすることは禁止されています。

禁止されている寄付の例

- ・病気見舞い
- ・葬式の花輪、供花
- ・入学祝、卒業祝
- ・お中元、お歳暮
- ・祭りへの寄付や差し入れ
- ・町内会の集会や旅行などの催し物への寸志や飲食物の差し入れ
- ・地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差し入れ

【例外事例】政治家本人が、結婚披露宴・葬式などに出席し、持参する結婚祝い・香典は罰則の対象外
注記：政治家に対し寄付を求めた場合、求めた側も罰則の対象となります。



CONTENTS

第4回定例会の結果	P 4
一般質問	P 8
委員会における審査報告	P11
各常任委員会行政視察リポート	P14
第3回臨時会の結果・市議会モニター意見箱・平成28年第1回定例会の予定	P15
議員紹介・議長賞紹介・編集後記	P16

平成28年度市議会モニター募集

市民の皆様から議会活動及び議員活動についての意見、要望等をお聴きし、市民ニーズを反映した議会運営を図るため、「市議会モニター」を募集します。

職務

- ①市議会の会議を傍聴し、議会運営の見聞を広げるとともに、意見、提案等を文書により提出。
- ②議会が行うアンケートに回答。
- ③モニター会議に出席し、議会運営に関する意見交換を行う。

応募資格

満18歳以上で市内に在住、在勤又は在学し、市議会に関心のある方

募集人員

若干名

任期

委嘱の日から平成29年3月31日まで

謝礼

予算の範囲内で支給します。

応募方法

議会事務局（東庁舎）にある応募用紙、またはホームページより印刷し必要事項を記入の上、平成28年2月29日（月）までに議会事務局へ提出してください。

選考方法

地域、職業、年齢などを考慮し、特に市議会モニター活動に意欲的かつ適任であると判断した方を議長が選任します。



ロゴのデザインについて

今号より使用している、愛称「きたる」のロゴは、名古屋芸術大学4年生佐々木菜歩さんにデザインしていただきました。

ロゴのコンセプトは、『全体のイメージとして、親しみやすく優しい印象の文字にしました。「愛」「ぬくもり」をイメージさせる赤色にしました。優しくつながり合う文字にし、文字の中に北名古屋市の花であるツツジを装飾して北名古屋市の未来を共につくっていくことを象徴しています。』です。



表紙紹介

加藤 小百合さん
(名古屋芸術大学4年)

この作品は、名古屋芸術大学の学生さんに描いていただきました。



平成27年 第4回定例会の結果

会期25日間 11月24日～12月18日

今回の議案

条例等の制定及び改正 …… 14件 (うち議員提案2件)	補正予算 …… 1件
指定管理者の指定 …… 8件	規約の変更 …… 1件
	人事案件 …… 2件

議案番号	議 案 名	議決結果
議案第90号	北名古屋市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正について	賛成多数 原案可決
議案第91号	北名古屋市職員の退職管理に関する条例の制定について	全員賛成 原案可決
議案第92号	北名古屋市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正について	
議案第93号	北名古屋市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部改正について	賛成多数 原案可決
議案第94号	地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	
議案第95号	北名古屋市証人等の実費弁償に関する条例の一部改正について	
議案第96号	北名古屋市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	全員賛成 原案可決
議案第97号	平成27年度北名古屋市一般会計補正予算(第2号)について	
議案第98号	北名古屋市市税条例等の一部改正について	
議案第99号	北名古屋市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	
議案第100号	西春日井広域事務組合規約の変更について	
議案第101号	北名古屋市障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行条例の一部改正について	賛成多数 原案可決

議案第102号 指定管理者の指定について（総合福祉センターもえの丘）

議案第103号 指定管理者の指定について（鹿田児童館）

議案第104号 指定管理者の指定について（久地野児童館）

議案第105号 指定管理者の指定について（熊之庄児童館）

全員賛成
原案可決

議案第106号 指定管理者の指定について（九之坪児童館）

議案第107号 指定管理者の指定について（宇福寺児童館）

議案第108号 指定管理者の指定について（鍛冶ケ一色児童館）

議案第109号 指定管理者の指定について（沖村児童館）

議案第110号 北名古屋市農業委員会委員及び北名古屋市農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について

賛成多数
原案可決

議案第111号 北名古屋市農業委員会委員候補者等選考委員会条例の制定について

議案第112号 人権擁護委員の候補者の推薦について

全員賛成
異議なし

議案第113号 人権擁護委員の候補者の推薦について

議案第114号 北名古屋市議会委員会条例の一部改正について

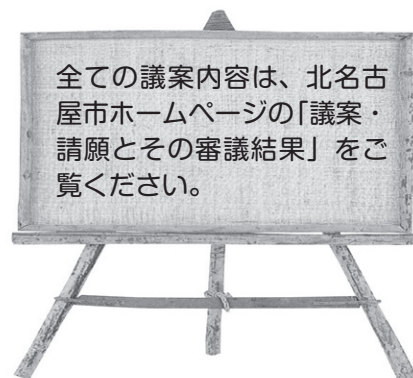
全員賛成
原案可決

議案第115号 北名古屋市議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正について

今号では、色の付いている議案をピックアップします。
なお、議案質疑等は委員会のページ(P11)に掲載しております。



全ての議案内容は、北名古屋市ホームページの「議案・請願とその審議結果」をご覧ください。



条例

北名古屋市職員の退職管理に関する条例の 制定について

可決

地方公務員法の一部改正に伴い、職員の退職管理の適正化を図るため、本条例を制定した。



PICK UP

退職後に再就職した元職員が、在職当時の地位を利用して、再就職先に有利等になるように、現職員に対して要求や依頼といった働きかけを行う行為を一定期間規制するものです。

予算

平成27年度北名古屋市一般会計補正予算 (第2号) について

可決

会計名	補正額	予算現額
一般会計	229万5,000円	290億2,869万5,000円

PICK UP

歳入は一般寄附金の増額補正、歳出は市制施行10周年記念事業費と農業事務費（農業委員会委員候補者等選考委員会委員報酬）をそれぞれ増額補正、交流事業費（北名古屋市交流協会補助金）を減額補正しました。

条例

北名古屋市農業委員会委員候補者等選考委員会 条例の制定について

可決

農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員の候補者を公平かつ適正に選考する北名古屋市農業委員会委員候補者等選考委員会を設置するため、本条例を制定した。

PICK UP

農業委員の選出方法が公選制から地域推薦・公募に変わります。また、農地利用最適化推進委員が新たに設置されます。本条例は、それらを選考する委員会を規定した条例です。



条例

議員提案による北名古屋市議会委員会条例の一部改正について

可決

議会における予算と決算の審査を一体的に行うとともに、議会運営の効率化を図るため、条例の一部を改めた。



PICK UP

今まで予算と決算はそれぞれ特別委員会として審査等を行ってきましたが、この改正により、予算決算常任委員会で一体的に審査等が行われます。なお、この改正は平成28年1月以降の予算又は決算の議案から適用されます。

条例

議員提案による北名古屋市議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正について

可決

議員の自己研さんと資質の向上及び幅広い視野の強化を目的に、北名古屋市議会政務活動費の交付額を改定し、議会活動の一層の推進を図るため、条例の一部を改めた。

PICK UP

平成28年4月から、政務活動費が月額1万円から月額3万円を上限とした額に変更となります。これは、変更前の政務活動費では、調査研究を行うために議員自ら費用の一部を負担することとなり、積極的な調査研究の阻害要因となっています。また、例年行っていた3常任委員会の視察を原則廃止し、個人又は会派にて政務活動費を使用して視察等調査研究を行うこととしました。



インターネットで議会の録画中継や議案の審議結果等が見られます

北名古屋市議会では、インターネットで議会に関する様々な情報をご覧いただくことができます。

是非、この機会に市民の皆様のアクセスをお待ちしております。

ホームページはこちらから



北名古屋市議会

検索

※通信料等はご利用者負担となります。



一般質問



ここでは、一般質問の一部のみを掲載しています。
一般質問の全ての内容は、動画や会議録（※）で
ご覧いただくことができます。市ホームページの「市
議会」から「議会録画中継」「会議録検索システム」
を検索してご覧ください。
※第4回定例会の会議録は2月10日頃掲載予定です。

質問議員 10名

建設部における土木事業内容とその 予算について 沢田 哲(市政クラブ)

厳しい財政状況のなか、市民から多くの側溝の
改修要望が提出されている。

- ①公共下水道設置予定地区内で老朽化し改修を要
する側溝箇所については、下水道敷設後の舗装
修復工事と同時に行うことで、経費の削減に繋
がると思うが。
- ②一般会計予算に占める土木費の比率を近隣市並
みに引き上げ、降雨時に道路冠水する地域や小
学生等の通学路を優先的に整備することは、有
効な予算の使い方に結び付くと同時に、地域の
住環境も改善されると思うが、市の考えは。

副市長

- ①側溝と下水道では整備事情が異なり、財政面や
市内の施工箇所の偏り等の問題があるが、建設
部内で調整し、同時に工事を行った箇所もあり、
今後も効率的に実施していきたい。
- ②生活道路の側溝は、雨水排除の他、交通安全、
環境衛生等の面から土木事業でも最も優先させ
るべきものと考えているため、予算確保に努力
していく。

その他の質問

- ・各地域に点在する消火栓について

いじめ及び不登校等解消への取組み について 神田 薫(市政クラブ)

いじめ及び不登校の早期発見、また、解消に向
け、生徒指導体制等、様々な取組みが行われている。

- ①発見、対応、報告はどのように行っているか。
- ②教員に対しどのような研修を行っているか。
- ③解消されていない児童・生徒もいると思うが、
学校及び教育委員会は、今後、学校・家庭・地
域の連携等にどのように取り組むのか。

教育長

- ①アンケートや予兆への対応等あらゆる手法を講
じて発見し、学校・保護者・関係機関との連携
及び、いじめ防止委員会や支援チームにより対
応し、教育委員会に月例報告を行っている。
- ②生徒指導リーフレット、いじめ克服プログラム
を実施し、不登校対策委員会でケース検討を
行っている。
- ③いじめ問題専門委員会など関係機関の助言を受
け、家庭と連携を強め、粘り強く指導・支援を

続ける。また、早期発見・早期対応及び未然防
止に努め、児童・生徒の自己有用感を高め、家
庭・地域と連携し、児童・生徒の心の居場所と
なる学校を目指していく。

防災行政無線無料テレフォン 間宮 文枝(公明党)

市民の安全・安心な暮らしのための防災行政無
線が風向きや騒音等により聞きとれなかった方の
ために、放送内容が確認できる防災行政無線無料
テレフォンサービスを導入する考えは。また、周
知のため同時に啓発シールを全戸配布する考えは。

防災交通課長

市民への情報提供は大変重要であると認識して
いる。メールやホームページをはじめ、様々な伝
達ツールを利用し、情報発信に努めている。また、
高度情報通信ネットワークを通じ、避難所開設や
避難勧告等の情報を、テレビ、ラジオ等でリアル
タイムに提供できる。防災行政無線無料テレフォ
ンもこれらの提供方法の1つと考えている。費用
を安価に抑えるため、6、7年後のデジタル化に
あわせ、導入に向け研究、検討していく。

その他の質問

- ・避難経路とAED設置場所の事前説明

障害者のグループホーム建設を求めます 大原 久直(日本共産党)

障害を有する方々の多くは、家族や行政の支援で
生活している。親元を離れ、自立した生活を行える施
設は、尾張中部福祉の杜のみである。親としては今後
のためにも早く自立した生活を送れることを願い、
グループホームの建設を強く要望している。大きな
前進のために力を尽くしてほしいが、その考えは。

副市長

今後障害を有する方は増加傾向と推計しており、
介護者の高齢化も進んでいる。そのような方
が自立して暮らすためには障害者入所施設が必要
であることは十分承知している。しかし、建設に
は多額な費用がかかり、また、人材の確保と育成
が必要になるため、清須市、豊山町の2市1町で
広域的に意見交換を行っており、今後も協力し合
いながら研究していく。施設の建設は市長の願い
でもあり、頑張っていきたい。

その他の質問

- ・マイナンバー制度の中止を政府に求めてください

食育における味覚教育への取り組みについて 上野 雅美(市民民主クラブ)

2005年の食育基本法の成立から学校や地域社会では食育の活動が活発に行われている。中でも味覚を育てる味覚教育は重要であると考え。味覚を五感や心で感じ、自分と他者の感じ方の違いを知る事は、他者を理解し、感謝の気持ちを持つことにつながる。

- ①子ども達の将来に向け、味覚の授業等の味覚教育に積極的に取り組む考えは。
- ②栄養教諭やPTAの方と味覚教育を進め、周知や研修会を開催していく考えは。

教育部長

- ①味覚教育は、味覚の表現を通じ個人を理解し合う効果などが期待できる。本市では栄養教諭による指導や学校給食を通して積極的に食育に取り組んでいる。さらに、食に関する指導の中で味覚教育の視点を取り入れ、より充実した食育を推進していきたい。
- ②学校へ味覚教育の内容や効果を紹介していきたい。



行政改革大綱及び行財政改革行動計画の今後について

桂川 将典(市政クラブ)

行政改革は、総合計画と表裏一体の計画として今後の方針を策定する重要な役割を持っていると考えている。行政改革大綱及び行財政改革行動計画は本年度が最終年度である。行政改革の成果は出ているが、来年度以降は何を目標に、どのように進める考えか。

経営企画課長

合併以来段階的に行政改革を推進し、現在では事業の実施にあたり、行政機関の簡素化・合理化、民間活力を導入した行政経営の方法を取り入れるなどの行政改革の手法を勘案するのが不可欠となっている。今後は行政改革大綱、集中改革プラン、行財政改革行動計画の成果を検証し、平成30年度以降を計画年度とする第2次総合計画に検証結果を盛り込み、取り組み目標を明確に見える化することにより、将来にわたって持続的な行政改革を進めていきたい。

市民協働のまちづくりについて

渡邊 幸子(市政クラブ)

地域が抱える課題を解決するため、市民と行政の協働によるまちづくりを進めている。

- ①市民協働の取り組みが始まった平成23年度以降、行政（職員間・部署間）の取り組み、意識の変化はあるか。
- ②現在の市民活動スペースは狭く、複数の団体が同時に利用できない。活動されている団体の交流や意見交換が行えるよう他に会議室を確保する考えは。
- ③市民協働の取り組みを広く周知するためのPR活動を今後どのように行うか。
- ④地域での対話から防犯に強い地域づくりを目指す等の取り組みはどのように考えているか。

市民活動推進課長

- ①全ての課に市民協働担当職員を配置し、市民協働職員研修に他市町の職員等と共に参加し交流している。こうした取り組みが、職員の協働への意識啓発、向上に繋がっている。
- ②来年1月、西庁舎にオープンするコミュニティセンターを活用し、団体交流会等を検討する。
- ③フェイスブック及び広報等に、今以上に積極的かつ継続的に掲載し、周知を図っていく。
- ④協働カフェ等によりモデル的な取り組みを検討し、地域力を高めていきたい。



北名古屋役所(西庁舎) コミュニティセンター



選挙公報について

齊藤 裕美(公明党)

選挙公報は、候補者の氏名、経歴、政見が記載され、候補者を選択する上で重要な資料となる。

- ①地方選挙における選挙公報の性質と法的根拠はどうなっているか。また、選挙公報の現状の配布時期と配布方法は。
- ②前回の市長・市議会議員選挙より、選挙公報を市のホームページ上で公開しているが、期日前投票が認知された現在、1日でも早い公開と選挙後も継続して公開する考えは。
- ③市長・市議会議員選挙において視覚障がい者の方に選挙公報の音声CDを作成する考えは。

選挙管理委員会書記長

- ①公職選挙法の規定に準じ、条例に定めて発行している。立候補者の公約を明らかにするという性質を持った選挙公報を選挙期日の前日までに、シルバー人材センターに委託し各世帯へ配布している。
- ②前回の選挙では、当時の総務省の見解に基づき投票日の翌日にはホームページ上から消去したが、その後、投票日以降も選挙公報を掲載可能という新たな見解が出された。次回の市長・市議会議員選挙に向け検討が必要と考えている。
- ③CD製作には時間がかかり、選挙期日前日までに準備するのは非常に困難なため、他団体の取組事例を踏まえ検討したい。

その他の質問

- ・子育て世代包括支援センターの導入について

安心して暮らせる介護サービスの提供を

渡邊麻衣子(日本共産党)

要支援者の訪問・通所介護が、全国一律の保険給付から市町村の介護予防・日常生活支援総合事業に移行となった。単価引下げ、無資格者の提供を可能にすること、事業費の上限設定等、サービス提供者や利用者への厳しい影響が懸念される。

- ①介護予防・日常生活支援総合事業のサービスの種類及び報酬単価等事業内容はどうなるのか。
- ②現在の要支援者が安心して現行相当の介護サービスが受けられるよう、まず要介護認定の申請を受け付けるべきと考えるが、市の考えは。

福祉部次長

- ①現行相当のサービスの報酬単価は、現給付費と同額、緩和した基準によるサービスは、人員配置要件の軽減や実施時間が短縮され、報酬単価は現給付費の7割から8割を想定している。
- ②対象者の要望を聴取した上で、介護給付サービ

スが必要な方には介護認定の申請を案内し、それ以外の方には基本チェックリストを実施する等、個々の状態にあったサービスを迅速に利用できるよう配慮する。

その他の質問

- ・被爆体験者と共に考える平和学習

市・名鉄・JTによるキャンペーンについて

阿部 武史(無会派)

鉄道周辺まちづくり構想で目指す「にぎわいと潤いがあふれる快適で安全・安心なまちづくり」を実現するため、また、市民参加の輪を広げるために、JTのマナーキャンペーンのノウハウを参考にするとともに名鉄の協力を得ながら、西春駅西のたばこの吸殻等の問題解決に取り組む考えは。

防災環境部長

まちづくりに伴う課題に対処するには、市民参加、民間の協力は必要不可欠である。喫煙者のマナーの向上はモラルの問題で根本的な対策は難しいが、市民、団体、企業等の協働によるキャンペーンは広く市民にアピールできるため検討していきたい。

今後も市民、団体等との連携、協働による環境美化に粘り強く継続的に取組み、安全・安心で快適な生活環境の形成に努めていく。

その他の質問

- ・西春駅西のタバコの吸い殻等への苦情の増加について



西春駅西口ロータリー



委員会における審査報告

～主な議案質疑内容を紹介します～

予算特別委員会

一般会計補正予算について



市制施行10周年記念事業の記念品の焼酎は、北名古屋市産の材料を使用しているのか。

酒造は、それに適した材料が必要である。材料ではないが、北名古屋市の財産ともいえる名古屋芸術大学にデザインを依頼し、ネーミングも北名古屋という名を使ったものを考えている。



ふるさと納税の経年的推移は。

昨年は56件で81万円。今年は10月から毎月120～130件のペースで申込みがあり、最終的には500件以上、金額で600万円を超えると予想する。



農業委員会制度を見直すだけでなく、本市のまちづくりに資する農業問題について真剣に捉える機会だと考えるが。

本市の農業政策や農業委員会等を根本的に見直す大きな機会だと考えている。またPRについては、広報紙に掲載したり、地元実行組合等関係する農業団体に行う等広く周知するよう準備をしている。



福祉教育常任委員会



議案第102号 指定管理者の指定について（総合福祉センターもえの丘）



施設の利用者や指定管理者からの声に対しどのように対応しているか。

施設への訪問やご意見箱等にて意見を収集し対応している。最近だと行事等の際トイレが混雑するとのご意見があり、今後の対応を検討している。



議案第103号 指定管理者の指定について（鹿田児童館）



指定期間は4年だが、予算は毎年積算し、交渉して決定しているのか。

毎年、市で人件費等必要経費から積算した予定価格と、提出された見積書を確認し契約している。



委員会における

建設常任委員会

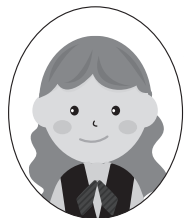


議案第110号 北名古屋市農業委員会委員及び北名古屋市農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について



農地利用最適化推進委員の役割及び活動時間はどのように考えているか。

農地の無断転用等の現地調査及び支援を行うと規定されている。また、活動日数としては年28日を考えている。



これまでの農業委員会では、農業に対する想いや考えが発信されてきたが、今後はどうなるのか。

今までの農業のあり方を踏襲しながら、新たな農業委員会により農政等に関する積極的な意見をいただくことで、農業振興政策の方針ができると考えている。



議案第111号 北名古屋市農業委員会委員候補者等選考委員会条例の制定について



農業委員会委員候補者等の選考基準はどのように考えているか。

経歴や公募・推薦の理由、特にまちづくりや農業施策に対する熱意や人柄等を考慮し、書類や面接にて選考する。



市内で収穫された農作物をもっと市民に食べていただくことで、地域愛、郷土愛がはぐくまれるのではないかと考える。そのような視点も選考委員会には必要なのではないか。

食育や地産地消は重要な事項であり、十分考えることになると考えている。



自然を感じるまちづくりについてどのようにお考えか。

自然環境は温暖化の面から捉えても農地保全が大切なテーマである。住環境と自然とが調和するまちづくりはこれからも考えていかなければならない。そのような方向性を持ってこれからの近郊農業を大切に組み込んでいく。



※その他の質問は、市議会ホームページにある会議の録画中継でご覧いただけます。

総務常任委員会



議案第90号 北名古屋市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正について



マイナンバー制度に関する市民の不安についてはどのように把握しているか。

情報漏洩等の不安があることは理解している。情報の取扱いについては安全かつ適正に行われるように努めていく。



議案第91号 北名古屋市職員の退職管理に関する条例の制定について



再就職の対象が営利企業となっているが、NPOや一般社団法人の取扱いは。

公共団体等以外の団体は基本的に就職した際の届け出をしてもらう。



議案第93号 北名古屋市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部改正について

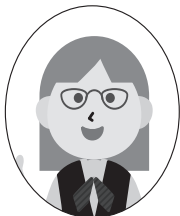


この条例の制定により、心理的な影響となり、心身症による職員を増やすのではないか。

この改正の対象は、無断欠勤、勤務態度が悪い等が対象であり、通常の職員はストレスを受けることはないと考え。心の病対策として、相談窓口や産業医による面談等を実施。次年度からはストレスチェック制度を導入し、早い時期から重症となるのを防ぐ取組みを行う。



議案第98号 北名古屋市市税条例等の一部改正について



納税困難者で分割納付が認められた方は何名くらいいるのか。

納付計画による納税誓約書を提出されている方は、平成26年度末現在で346名となっている。



納税相談者の増加が予測されるが、職員の配置等対応は決まっているか。

制度について研修や勉強会の開催及び関係部署との連携により、組織で対応できる体制づくりをする。



各常任委員会行政視察レポート



平成27年10月に各常任委員会の所管事項について行政視察を行いました。先進地の取組みを調査することで、新たな発想や本市の課題解決に大変参考となり、今後の政策提言やまちづくりについて、視察で得た知識・経験・情報を生かしていきたいと考えます。

総務常任委員会

熊本県天草市 地域ICT（情報通信技術）事業から広がるまちづくり。

個人や団体、企業等がICTを利活用し、地域活動を活性化させ、新しいサービスの創出へつなげている。

熊本県合志市 施策の評価を次年度に活かす！行政評価の取組み。

平成18年度から行政評価を議会と一体となり行い、切るだけの事業仕分けでなく、スリム化した事業をいかに効率的にまわすかに力を注いでいる。

福岡県宗像市 市民協働の先進市「宗像市」のコミュニティの推進。

地域住民の手によりまちづくりが推進されており、住民が、自己決定・自己実現・自己責任の考え方をもち、主体的にまちづくりを行っている。



建設常任委員会



沖縄県島尻郡南風原町 特性を生かした効果的な観光振興。

ARアプリや公衆WiFiを使い、観光客を地域内に誘致し、昔からある物の魅力を伝えている。

沖縄県八重山郡竹富町 ごみの削減に向けた取組み。

生ごみを可燃ごみとして回収せず、各自が持ち寄り、生ごみ処理設備で堆肥化を行う等のごみ削減の取組みにより、一人当たりのごみを出す量が、全国平均の約半分となっている。

沖縄県石垣市 新たな価値の創造。6次産業化支援及び自然環境と経済活動の調和。

市の戦略的作物のブランド化における農業所得の向上や、新たな特産品の創造等を行っている。

福祉教育常任委員会

宮城県東松島市 東日本大震災の状況と復興。

東南海地震の発生時に備えるため災害時相互応援協定を締結している東松島市で、震災後、復興まちづくり計画により福祉・教育施設等の復興に取り組んでいる。

山形県上山市 健康・予防意識と市内店舗の活性化。

地域の特性を利用したクアオルト健康ウォーキングなど市民の健康・予防の意識付けと、市内の店舗・事務所等と連携・協力し、産業の活性化を図っている。

山形県天童市 高齢者の社会貢献と介護予防。

本格的な高齢者社会を迎える中、高齢者の社会参加を通じて社会貢献や生きがいづくりの推進、介護予防につなげるため、ポイント制を導入し活動への意欲を高めている。

山形県東根市 「子育てを応援する」支援事業。

総合保健福祉施設「さくらんぼタントクルセンター」を拠点に、さまざまな子育て支援に取り組んでおり、運営をNPO法人に委託することにより、子育てに要する経済的な負担の軽減や子どもの視点に立った取組みがされている。



第3回北名古屋市議会臨時会

第3回臨時会が、12月28日に招集され、「北名古屋市市税条例等の一部を改正する条例の一部改正について」の議案1件を審議し、全員賛成により可決した。

PICK UP

この条例改正により、1月から市民税及び特別土地保有税の減免申請書に個人番号を記載する必要がなくなりました。

市議会モニター意見箱 ～第4回 定例会～

平成27年度の市議会モニターは8名の方が活躍しています。
ここでは、いただいたご意見を紹介します。

- ・政務活動費の条例改正については、議員提案のため意見も討論もなく全員賛成となったが、市民を含め、第三者機関で検討し、提案する形にした方がよいのではないかな。
- ・本会議、各委員会の運営は住民の目線で協議・検討してほしい。
- ・住民の身近な事案を協議してほしい。
- ・議会モニターの増員、最低15名程度が望ましい。

その他たくさんの貴重なご意見、
ご提案をいただきました。今後の議会運営に
役立てていきたいと思ひます。



平成28年 第1回 定例会の予定

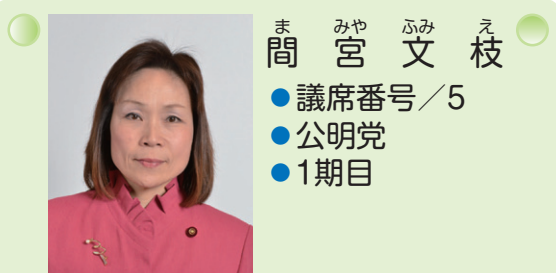
2月23日	本会議（初日）	【請願書・陳情書の提出について】 第1回定例会の審査対象となる請願書・陳情書の提出期限は、2月12日（金）の午後5時（予定）です。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。
3月2日	本会議（一般質問）	
3月3日	本会議予備日	
3月7日	予算決算常任委員会	
3月8日	予算決算常任委員会	
3月9日	福祉教育常任委員会	
3月10日	建設常任委員会	
3月11日	総務常任委員会	
3月14日	鉄道連続立体交差事業等検討特別委員会	
3月17日	本会議（最終日）	

議員自己紹介

もっと身近に! 20名リレー

No.3

現在20名の議員で市議会を運営しています。議会を身近に！を目指し、毎号リレー形式で議員が自己紹介をしていきます。



間 宮 文 枝

- 議席番号／5
- 公明党
- 1期目

- A1.** 映画鑑賞、音楽鑑賞、ミュージカル鑑賞
A2. 誠実に謙虚に、そして熱心に。
A3. 両親、高校時代の恩師、広岡浅子(女性実業家)、コブクロ、エンヤ
A4. 同苦し、一人に寄りそいどんな小さな声もかたちにして参ります。



な お き よ し ろ う
猶 木 義 郎

- 議席番号／6
- 公明党
- 2期目

- A1.** 銘木(めいぼく)収集、ウクレレ製作、音楽鑑賞
A2. 冬は必ず春となる。
A3. 早川徳次(シャープ創業者)、ジェイク・シマブクロ、エリッククラブトン
A4. 議会も今年10年の節目。信頼される議会を政治を目指します。

質問内容 Q1.趣味は? Q2.好きな言葉は? Q3.尊敬する人・好きな芸能人は?
Q4.市民へメッセージを!

議長賞紹介

平成27年度北名古屋市青少年健全育成大会の議長賞が決まりました!

わるいこと
おてんとさまは
見ているよ

【標語の部】

師勝小学校 2年 松浦 麻子さん



【ポスターの部】

訓原中学校 3年 佐藤 百花さん

編集後記

この度の議会だよりにて、愛称『きたしる』のロゴデザインをお披露目させていただきました。ロゴのコンセプトである、優しさ・繋がり・親しみやすさは議会だよりの目指す方向にピッタリと当てはまり、これからも表紙の顔として、その存在感を示してくれると思います。

今後とも市議会に対しましてご理解ご協力をお願いいたします。

